

広島大学法科大学院

# 法律科目試験

[憲法]

2022年8月27日(土)

13:20~14:20

注意事項

[憲法] (60点)

日本と国交のあるA国では、A国政府と対立する団体Bによる過激な活動が頻繁に行わ

ていた。日本の外務省は、A国の危険レベルを4段階中のレベル4とし、A国からの退避及びA国への渡航中止を日本国民に呼びかけていた。

著名なジャーナリストである日本国民Xは、団体Bの最高指導者Cへの取材のため、A国への渡航を考えていることを公表していた。これに対して日本の外務省は、XのA国におけ

出入国管理及び難民認定法（抜粋）

（日本人の出国）

第60条 本邦外の地域に赴く意図をもって出国する日本人（乗員を除く。）は、有効な旅券を所持し、その者が出国する出入国港において、法務省令で定める手続により、入国審査官から出国の確認を受けなければならない。

2 前項の日本人は、出国の確認を受けなければ出国してはならない。

広島大学法科大学院

# 法律科目試験

[刑法]

2022年8月27日(土)

14:40~15:40

注意事項

1 ページ数付 表紙を除いて 1 ページです

[刑法] (60点)

次の【事例】を読んで、(1)及び(2)の問いに答えなさい。

【事例】

某日深夜、警察の捜査協力者であるXは、暴力団組織の事務所において、同組織に所属するAに捜査協力者ではないかと怪しまれ、同人から拳銃を右こめかみに突き付けられ、同事務所で監禁されているBに覚醒剤を注射するように言われた。Xは、断れば殺されると思い、その場から離れるためにはBに覚醒剤を注射するしかないと決意して、Aから渡された覚醒剤が入った注射器でBに注射した。すると、Aが、「もう一本打て。」と言って更に覚醒剤が入った注射器を渡してきた。Xは、通常の2回分の覚醒剤を注射すれば、暴行を受けて衰弱した様子のBが死亡するかもしれないと思ったが、断れば自分が殺されるとの恐怖心から、再度、覚醒剤をBに注射した。

Bは、一命を取り留め、入院加療を要する覚醒剤による急性薬物中毒の傷害を負った。Bに注射された覚醒剤の量は、衰弱している人であれば死亡する危険性が高いもので、実際にBは注射されたとき暴行や監禁により衰弱していた。

- (1) 刑法37条1項にいう「やむを得ずにした行為」について、正当防衛と比較しながら論じなさい。
- (2) Xの罪責について、緊急避難が成立するとの立場から説明した上で、その当否を論じなさい(特別法違反の点は除く)。

広島大学法科大学院

# 法律科目試験

## [民法]

2022年8月27日(土)

16:00~17:20

### 注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、1ページです。
- 2 問題は2問、解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

[民法] (80点)

第1問 (30点)

Aは、自宅キッチンのリフォームを計画し、複数の工務店から見積りをとって契約をすることを告げて、BCDの3社の工務店から見積りをとった。Bは、見積総額を「1,523,000円」と書くべきところを「1,253,000円」と誤って書いた見積書を誤りに気が付かずにAに提示してしまった。Aは、Bが比較的安い価格であり、自宅からも近い工務店であったことから、Bと見積書に書かれた金額で契約を締結した。その後、Bは、見積価格の誤記に気が付いた。

Bは、金額の誤記を理由に、Aとの契約を解消したいと考えている。Bは、どのように主張することができるか、検討しなさい。

第2問 (50点)

小麦を輸入する商社Aと問屋Bは、本年4月にAを売主として、引渡期日を6月末、AがBの指定する倉庫に小麦を届ける内容の小麦の売買契約（以下「本件契約」という。）を締結した。このことを前提に次の(1)及び(2)に答えなさい。なお、それぞれは独立した問題である。

- (1) 本件契約を締結した翌日、突然、C国が小麦の世界的産地であるD国に侵攻したため、その後に小麦が高騰していった。Aは、Bに代金の値上げを求めたが、Bはこれに応じなかった。その後、7月に入り、Bは、Aに対し相当な期間を定めて小麦の引渡しを求

償を請求したいと考えている。Bは、どのような法的根拠に基づいて、どの時点の、どのような損害賠償を請求することができるか、論じなさい。

- (2) 本件契約の引渡期日にAがBの指定する倉庫に小麦を持参したが、Bが「品質が悪い」